

# 山陽学園高等学校 地歴部

高校生ボランティア・アワード2023

## 「『市民が解決者！』海洋ごみ問題解決へシビック・テックで挑む」

### ●海洋ごみ問題をSDGsの視点から解決

- ①回収活動...「過去」「現在」に発生したごみを減らす！  
⇒市民・経済団体・企業との協働による回収活動の実施
- ②啓発活動...「未来」に発生するごみを減らす！  
⇒市民が日常生活の中で解決行動ができる仕掛け作り

市民は廃棄者 **＝** 市民は解決者



行動変容を促したい

### ★keyword ①市民協働 ②シズンサイエンス ③ICT×SDGs

#### ★私たちの挑戦

- ①市民を巻き込んだ「市民協働」の取り組み
- ②市民が取り組みやすい仕掛け作り
- ③市民の海洋プラスチックごみ問題への「解決貢献意識」「美化意識」の醸成

みんなで  
簡単に  
遣り甲斐

#### 『シビック・テック』の活用

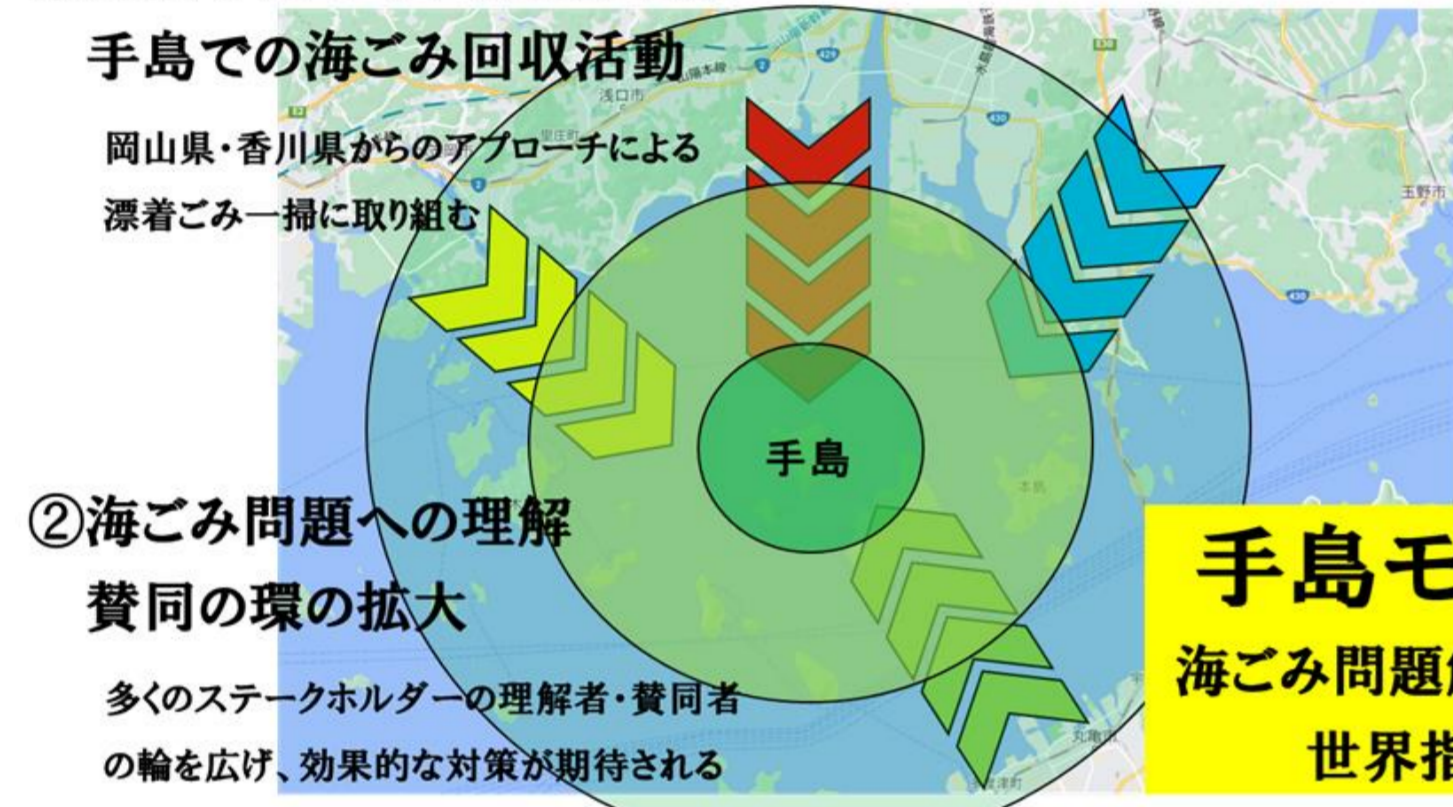
【Civic Tech】…市民自身(Civic)がテクノロジー(Tech)を活用して、社会課題を解決する取り組み

(例)市役所のwebサイトへ市民が壊れた街のガードレールの写真撮影して、投稿して、市役所は情報を集め、改善につなげる

- ①「1人の100歩ではなく、100人の1歩」となる取り組みの必要性  
⇒ 小さな力の結集が大きな解決力になる実践
- ②行動変容への入り口を広げ、ハードルを下げた仕掛け作りの必要性  
⇒ 日常生活でも取り組みやすいツールを使用した実践
- ③市民の海洋プラスチックごみ問題への「解決貢献意識」「美化意識」の醸成

市民に一番浸透したテクノロジー  
つまりICT機器の「スマホ」を活用して  
市民が海洋ごみの原因である街中ごみの  
調査・回収をして問題を解決する挑戦！

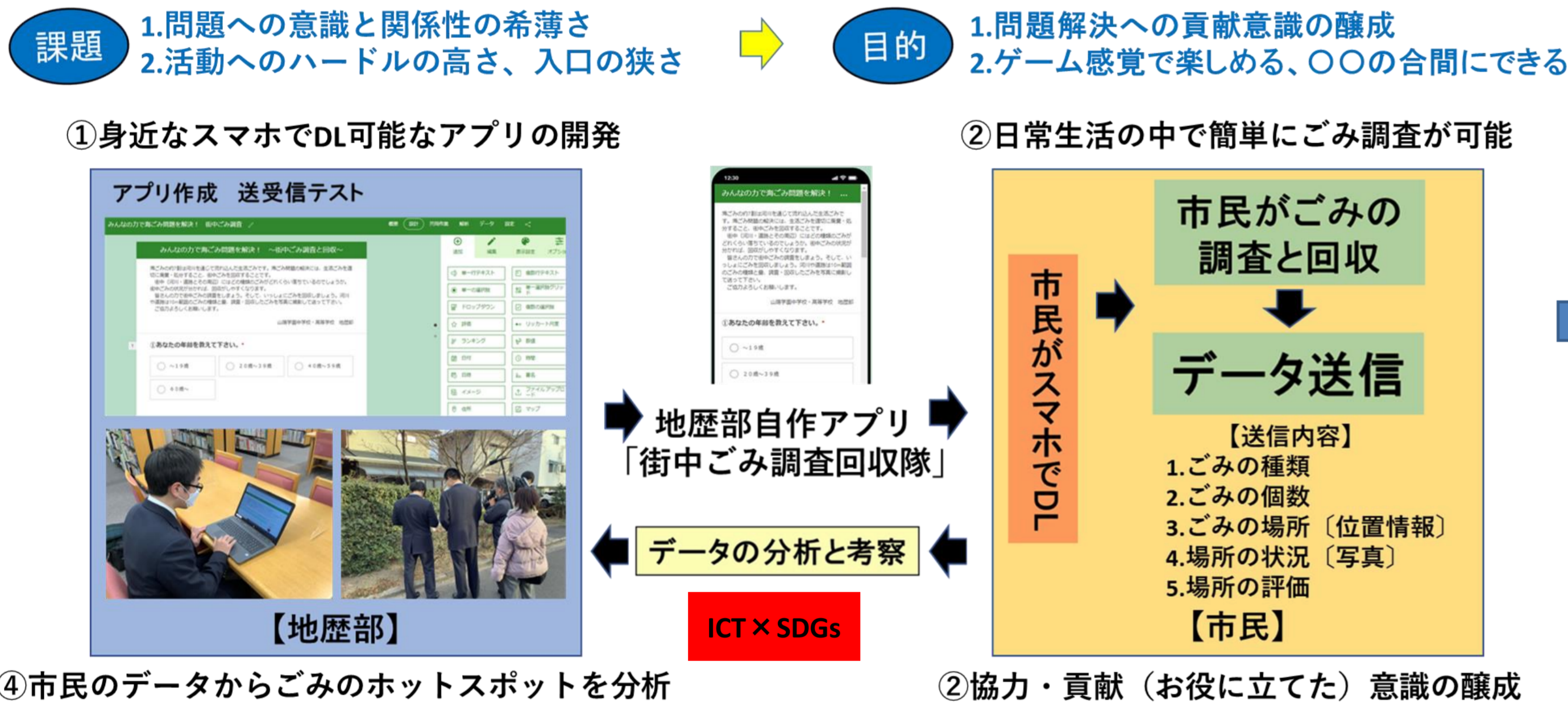
#### ①山陽学園＋中国銀行による



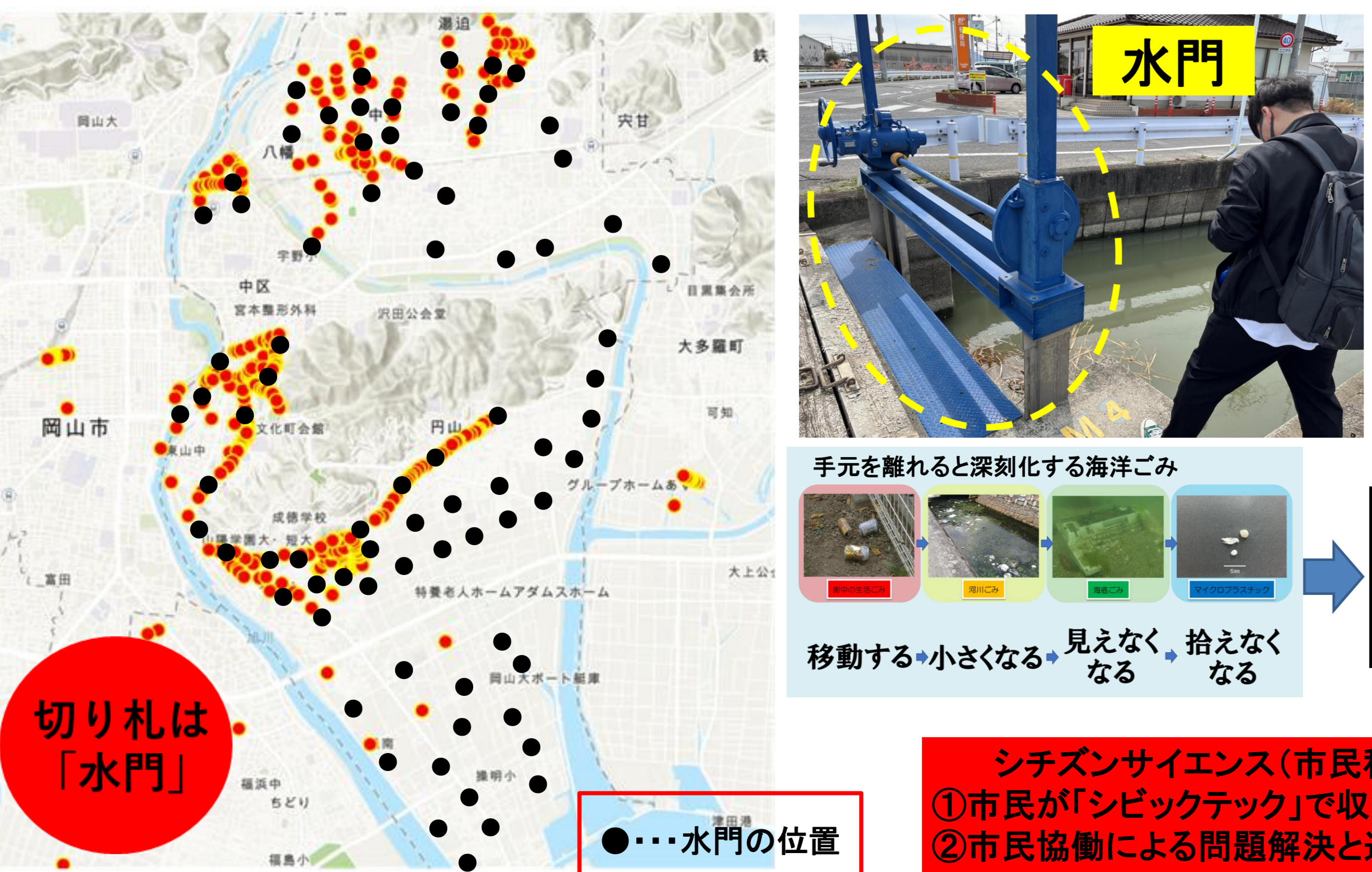
市民・企業など島外・沿岸からのごみ撲滅作戦



#### 『シビック・テック』を活用した実践



#### 市民が収集のごみデータを活用するプラン



部員 中学23名 高校26名

2008年 瀬戸内海の海洋ごみ問題解決への活動スタート  
2013年 日本ストックホルム青少年水大賞 グランプリ  
2014年 第24回地球環境大賞 文部科学大臣賞  
2015年 環境保全功労者表彰 環境大臣賞  
2016年 第17回環境美化教育優良校 農林水産大臣賞  
2017年 第5回生物多様性アワード 優秀賞  
2018年 第2回ジャパンSDGsアワード 特別賞  
2019年 第21回日本水大賞 大賞  
G20大阪サミット配偶者プログラム発表  
2020年 第9回イオンエコワングランプリ 内閣総理大臣賞  
2021年 海ごみゼロアワード2021 環境大臣賞 など  
ドイツ・アメリカ・ロシア・トルコ・中国での国際会議やメディアから積極的に情報発信しています

シズンサイエンス(市民科学)で海洋ごみ問題解決へ  
①市民が「シビックテック」で収集したデータが基礎データへ!  
②市民協働による問題解決と達成感で「市民が解決者」へ!